

## 1 単元のデザイン

## 【本単元の目標】

<知識及び技能>主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 【カ 文や文章】

<思考力、判断力、表現力等>二つの文章を読み比べ、理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 【読むこと オ 考えの形成】

<主体的に学習に取り組む態度>二つの文章を繰り返し読み、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫をみつけ、書き手の意図を読み取ろうとしている。

## 【単元観】

本単元は、小学校学習指導要領解説国語編C読むこと（第3学年及び第4学年）考えの形成 オ「文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。」を受けて設定したものである。言語活動は、ア「記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりすること。」に対応する。児童はこれまで、中心となる語や文を考えながら段落ごとの内容を捉えることを学習しているが、図版などが含まれた実生活のテキストを読み、そこから事実と意見との関係を考え、書き手の表現の工夫を読み取ることは学習していない。そこで本単元では、筆者の意図に応じて事柄の取り上げ方や説明の仕方に違いがあることを読み取り、それを活用する力を身に付けることをねらいとした。本教材は、「ほけんだより」という学校生活における配付物を題材に取り上げており、実生活での活用につなげやすい教材である。目的と構成を同じくしながら、書き手の意図によってそれぞれ違う表現の工夫を読み比べることで、取り上げられている事柄と説明の仕方の違いに焦点化して考えるのに適している。

## 【児童観】

児童は、5月に学習した同系統の前単元である「自然のかくし絵」で、段落ごとの内容をとらえながら文章を読むことを学んでいる。単元末テストの平均点は90.7点で内容の中心となる語や文に着目して文章を読むことができていると言える。しかし、学期末テスト（説明文）の平均点は66.5点であった。これは、初見の文章を読んで事柄の順序や大事な言葉を見つながら全体の内容を読み取ることの経験不足や単元で習得した力を活用できていないことが理由ではないかと捉えている。書くことについては、家庭学習で日記を書いている。調べて分かったことをポスター等にまとめることに意欲的に取り組むことができる児童が多い。

児童アンケートでは、「自分の考えを理由をつけて分かりやすく話しています」の質問に肯定的評価をした児童は63%であり、目的や必要に応じて考えたことなどについて理由を明確にして話す力が十分に身に付いていないという実態がある。また、図表や写真などの資料を収集し、分かったことや考えたことを説明したり意見を述べたりすることについては、国語科や総合的な学習の時間で取り組んできているが、文章と図表などの資料とが相互に密接な関連をもったものであることを意識するところまでには至っていない。

## 【指導観】

本単元では、書き手の工夫を考えながら二つの文章を読み比べ、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取る力を身に付けさせたい。

まず、「課題の設定」の場面では、児童が学校生活で出会ってきたさまざまな「たより」を掲示することで、具体物を見ながら教材に対する興味を持たせていく。また、本学級で児童と担任が楽しみながら取り組んでいるけん玉についてのよさや魅力を伝える掲示物を出すに当たって、二つの文章からどちらにするかを考えてほしいという投げかけを行い、本単元を学習するという学びの必然性をもたせる。「情報の収集」、「整理・分析」では、教材文の朝食の大切さについて書かれた二つのほけんだよりを読み比べる。まずは、読み比べるための観点を理解するために、既習事項を活用し、形式段落に番号を付け、はじめ・中・おわりの段落相互の関係に注意して文章の構成を捉える。次に、二つのほけんだよりは、誰に、何のために書いたのかという相手意識や目的意識を明確にする。それらをもとに、中心となる語や文に線を引き、共通点や相違点を確認し、取り上げられている事柄や説明の仕方の工夫の違いを手がかりにしながら、書き手が伝えたいことを読み取っていく。一つ目の文章は、朝ご飯の役割や機能についてイラストを取り入れながら科学的に説明し、その必要性を納得させており、二つ目の文章は、朝ご飯と体調不良の関係をデータで説明し、客観的な事実を示すことで説得性を持たせている。二つの文章は書き手の意図によって取り上げられている事柄の内容と説明の仕方の工夫に違いがあることに児童自身が気づき、図表や絵の効果とつないで考えながら読む比べることを通して、書き手の工夫を読み取ることができるようにするとともに、自分事としてどちらの文章を読むと朝ご飯を食べようという気持ちになるかを考え、書かれている事柄や説明の仕方に関連付けてその理由を明確に表現できるようにし、第二次へつなげる。

第二次の学習では、これまでに習得した学びの活用場面として位置づける。「情報の収集」、「整理・分析」の場面では、自作資料であるけん玉と集中力の関係について書かれた二つの文章を読み比べる。文章と資料との関係を考え、目的に応じた表現の工夫を読み取ることを通して、書き手の意図を捉え、自分が書き手の立場に立ってどちらの文章がより有効かを考えることで目的に応じた情報選択力を身に付けることにつなげたい。「まとめ・創造・表現」の場面では、自分が選んだ理由をおすすめカードに書くという活動を取り入れる。書いたカードは、友達と読み合い、自分と同じ考えや違う考えを知り、多様な他者の考えを受け入れることができるようにしたい。

単元後は、本単元で身に付けた「書き手の工夫を考え、読み取る力」を日常生活で目にするさまざまな「たより」を読むことに汎用したり、本学習を社会科の「まちたんけん」や総合的な学習の時間の調べて分かったことを整理し、事柄の取り上げ方や説明の仕方を工夫して新聞やリーフレットにまとめたりするなど他教科等の学習の活用へとつなげたい。

2 単元の系統性から見たつまずきの要因分析とその手立てについて ※色付き部分:対象児童のつまずきがみられる単元

説明文「表現の工夫・読み比べ」系統

学びのつながり（読むこと:説明文）

2年: ふるしきは、どんなぬの

カードと本の文章という二つの文章を読み比べ、それぞれの説明の違いに気づく。【言葉の力】せつめいのしかたのちがいに気づく

自然のかくし絵

段落の内容を捉えながら文章を読む。【言葉の力】段落の内容を捉える。

3年: 「ほけんだより」を読みくらべよう

二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取る。【言葉の力】書き手のくふうを読み取る

4年: 広告と説明書を読みくらべよう

広告と説明書の文章を読み比べ、それぞれの目的に合わせた表現の違いを読み取る。【言葉の力】表し方のちがいを読み取る

もうどう犬の訓練

だいたい言葉や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約する。【言葉の力】要約する

つまずきの要因をつかむために取り組ませた習熟プリント集の問題

- ・段落の内容をとらえるとともに大事なことを落とさずに読み取るための説明文の問題（トンネルほりの名人）
- ・説明の違いに気づくための読み比べの問題（音楽発表会のポスター）
- ・文章と絵から内容を読み取るための問題（ホットケーキの作り方）

人をつつむ形—世界の家めぐり  
文や絵から読み取ったことを整理し、自分の考えを書く。  
【言葉の力】書いてあることを整理する

【本単元を系統的に関連付けて予想したつまずき】

- 時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体をとらえたり、段落分けをしたりすることはできるが、段落相互の関係に着目しながら筆者の考えや結論、また、そこに至る事例や理由をとらえることは難しいのではないか。
- 文章に書かれている表現をそのまま抜き出す問いには正しく答えることはできるが、中心や要点、根拠を問われたりする問題は難しいのではないか。
- 図・表と文を関連付けて読むことが難しく、視覚的な情報から主観的に読んでしまうのではないか。

【習熟プリント等の結果から明らかになったつまずきとその要因】

- 二つのポスターを読み比べ、共通点や相違点をもとに考えることに課題がある。
- ▼「ア・イ、それぞれのポスターでは分からないことを、一つずつ書きましょう。」というような不足の部分について答える問題は無回答であった。問いの意味が理解できなかったことと本人の語彙の不足により伝えたい内容を表す語句（時間・場所等）を導き出すことが難しいのではないか。
- 文章の中心を捉えることが難しい。
- ▼選択問題では、文章と結びつかないものを選んでいった。内容に関係なく知っている言葉が書かれているものを選んでしまうのではないか。

【つまずきの要因分析をもとにした手立てや支援】

- ・読む活動を十分に取り入れ、繰り返し出てくる表現はキーワードとなることに気付かせる。
- ・「読み取りくん」を活用し、読み取りの手順を確認させ、自力解決につなげさせる。
- ・「発表くんカード」を活用し、自信をもって発表させる。
- ・「まとめるくんカード」を活用し、二つのまとめ方から選ばせて自分の考えを書かせる。
- ・書いてあることを短い言葉でまとめさせ、根拠を説明させる。

【放課後学習（フォローアップ教室）や通級教室での支援】

- ・習熟プリント（トンネルほりの名人）の問題を解かせる時に鉛筆の進み具合と目線から、設問に対し、どの文章を手がかりにしているのかを観察し、なぜ、そこから答えを導き出そうとしたのかを問い、根拠を明確にさせながら考えの道筋を明らかにする。
- ・助詞がくっついていると名詞が判別できないことがあるので、絵カードを使って、生活に密着した言葉遊びをしながら語彙を増やす。漢字の誤り分析を定期的に行い、意味を理解しているかどうか確認する。

### 3 単元の評価規準

資質能力	思考力	・二つの文章を読み比べ、図表と文章との関係に着目してその効果を考え、書かれている事柄や説明の仕方をもとに、書き手の工夫を読み取っている。			
国語科	知識及び技能	<table border="1"> <tr> <td>思考力、判断力、表現力等</td> <td rowspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td>読む能力</td> </tr> </table>	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度	読む能力
	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度			
読む能力					
	(ア)「記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする言語活動」を通した指導				
	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(カ)	・二つの文章を読み比べ、理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(オ)	・事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけるために、進んで二つの「ほげんだより」の文章を読み比べようとしている。		

### 4 教科の指導事項との関連

#### 第3学年 国語科(C読むこと:オ 考えの形成)

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年
オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。

### 5 指導と評価の計画(国語 全6時間)

次	時	学 習 活 動	評 価			児童の思考のプロセス (深い学びを実現に向かう児童の姿)	
			知	思	態		
単元前		<b>課題の設定</b> ・学習発表会「100周年だよ！全員集合」 ・社会科「工場ではたらく人々の仕事」 ・帰りの会「けん玉認定式」 ・身体測定「集中力の話」					
第一次	1	<b>課題の設定(国語科)</b> ・学習のゴールイメージをもち、単元のめあてを設定するとともに学習計画を立てる。			○	○けん玉のよさや魅力を伝える掲示物を選ぶという単元のゴールを理解し、見通しをもって学ぼうとしている。 (発言・ノート)	「読み比べる」っておもしろそうだな！読み比べるときに大切なことを知りたいな。
	2	<b>情報の収集</b> ・二つの文章の共通点と相違点について話し合う。	○			○二つの文章の共通点や相違点を考えながら文章に書かれていることを理解している。 (発言・ノート)	二つのほげんだよりには同じところとちがうところがあったよ。
	3	<b>整理・分析</b> ・図表と文章を関連づけ、図表の効果を考え、説明の仕方の工夫を整理し、書き手の意図を捉える。	○			○図表と文章の関係に着目し、図表の効果を考えながら、文章に書かれている事柄を理解している。 (発言・ノート)	同じところとちがうところを比べると大森先生の伝えたいことがわかったよ。
第二次	4 本時	<b>情報の収集・整理分析</b> ・二つの文章を読み比べ、説明の仕方の工夫を整理し、書き手の工夫を捉える。			○	○既習事項を活用し、書かれている事柄や説明の仕方の違いから、説明の工夫を整理することができる。 (発言・ノート)	二つの文章を読み比べ、読み取ったことを伝えたり、自分の考えを書いたりすることができたよ。
	5	<b>まとめ・創造・表現</b> ・どちらかの文章を選び、選んだ理由をおすすめカードにまとめる。	○			○おすすめカードを分かりやすく書くためには主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 (おすすめカード・発表)	だれに、何を伝えたいかを考えながら、おすすめカードを書くことができたよ。
	6	<b>振り返り</b> ・おすすめカードを友達と読み合い、学習の振り返りをする。			○	○二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の着眼点や感じ方に違いがあることに気付いている。 (おすすめカード・発言)	二つの文章を読み比べるって楽しいな。いろいろな文章を読んだり書いたりするときに使えるな。
		<b>目指す児童のゴールイメージ</b>				二つの文章を読み比べ、書かれている事柄や説明の仕方をもとに、書き手の工夫を読み取れたよ。文章の特徴や工夫を見つけながら読むと、伝わり方がちがうね。書き手の工夫を考え、読み取る力を他教科や生活に生かしていきたいな！	
単元後		<b>まとめ・創造・表現</b> ・総合的な学習の時間「まちのすてきを見つけ隊」をまとめる。 ・社会「店ではたらく人びとの仕事」をまとめる。					

### 6 本時の目標

・二つの文章を読み比べ、理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	【読むこと オ】
---	----------

## 7 本時の展開

	学習活動（時間）	◇指導上の留意点 ・予想される児童の反応 ◆深い学びを促す教師の手立て F U 対象児童への教師の手立て	評価規準 (評価方法)	
課題の設定	1 これまでの学習をもとに、本時のめあてを確認する。（5分）	◇あいさつの後、起立して音読させ、全文を読んだら着席し、黙読させる。 ◇掲示した学習計画をもとに、けん玉だよりを読み比べるという本時の目的を想起させ、共有させる。 <b>Point</b> 既習事項（二つのほけんだよりの文章の読み比べ）の掲示物をもとにこれまでの学びを想起できるようにしておく。		
情報の収集	2 二つの文章を一斉で音読する。（3分）	◇けん玉だよりの拡大コピーを黒板に提示し、今、どこを音読しているのかわかるよう、文章を指し示すことができるようにする。 <b>Point</b> 語のまとまりや区切りがわかるように「分かち書き」をしたプリントを準備する。 <b>Point</b> 資料の未習の漢字にはふりがなを書いておき、安心して読めるようにする。 <b>Point</b> 理解が難しいと予想される語句についてはタブレットで絵や写真を提示し、イメージをつかませる。		
整理・分析	3 二つの文章を読み比べ、それぞれの取り上げられている事柄を捉える。（3分）	◇既習事項をもとにA・Bの文章を読み、取り上げられている事柄、共通点や相違点、キーワードに着目させ、プリントに線を引かせる。	<b>【読】</b> ・既習事項を活用し、書かれている事柄や説明の仕方の違いから説明の工夫を整理している。 （発言・ワークシート）	
まとめ	4 それぞれの取り上げられている事柄について全体で交流する。（7分）	◇着目した内容について発表させ、全体で共有できるようにする。 <b>Point</b> それぞれの取り上げられている事柄を確認することで、安心して学びに向かえるようにする。 ◆全体交流を通じ、自分の学びに生かしたい内容をプリントに書き込ませる。 ◆発表した内容を叙述と関連付けながら拡大コピーにまとめる。		
	5 全体交流をもとに、それぞれの取り上げられている事柄を選ぶ。（3分）	◇「読み比べくん」を使って、それぞれの取り上げられている事柄を比較しながら整理させる。 ◇話し合いを通じ、自分の学びに生かしたい内容を書き込ませる。		
振り返り	6 選んだ理由をまとめる。（5分）	◇「読み比べくん」を使って、取り上げられている事柄についてそれぞれのよさを比較しながら整理させる。 <b>Point</b> 語型を提示し、安心して自分の考えを伝えることができるようにする。		
	7 まとめた理由をグループで説明し合う。（4分）	◇友達のことを聞き、自分の学びを深めさせる。		
	8 読み比べたことをまとめ、全体で交流する。（10分）	◇本時の学びをもとに、伝えたい相手にはどちらのけん玉だよりの事柄の取り上げ方が効果的か、考えたことをノートにまとめさせる。 ◇「まとめるくん」を電子黒板に提示し、まとめ方のイメージをつかませる。 <b>Point</b> 「まとめるくん」を手元に置いて、安心して書くことができるようにする。		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ・Aは、けん玉をして集中力がアップすると高まる力を取り上げています。            Bは、けん玉にチャレンジするとやる気パワーが出ることを取り上げています            1年生に配るならBがいいと思います。Bは、やる気パワーがアップすることが絵で表されているので、1年生でも大事なことが伝わると思ったからです。         </div>		
	9 本時の学びを振り返る。（5分）	◇一人一人が本時の学びを価値付け、次時の学びにつなぐことができるようにする。		<b>【思考力】</b> ・二つの文章を読み比べ、書かれている事柄や説明の仕方をもとに、書き手の意図を読み取り、自分の考えを書いている。 （発言・ノート）

